



FIBER

The Society of Fiber Science and Technology, Japan

繊維学会誌

||| 繊維と工業 ||| Reviews and News

特集〈今、新しいシルクの話(2)〉

||| 報 文 ||| Original Articles



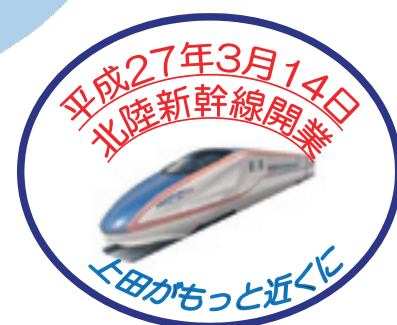
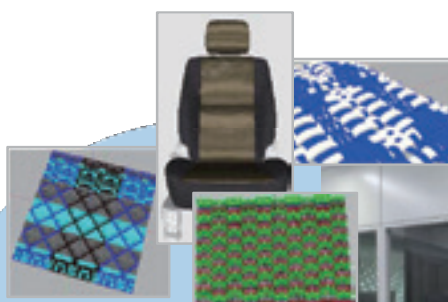
Fiber Innovation Incubator

オープンイノベーションにより
新たなファイバー産業と地域産業を創出する
産学官連携拠点



レンタルスペース
入居企業募集！

研究設備の一例



〒386-8567

長野県上田市常田3-15-1

Tel: 0268-21-5454

E-mail: fii@shinshu-u.ac.jp

<http://www.shinshu-u.ac.jp>

日本化学繊維協会 Web サイトのご案内

日本化学繊維協会では“化学繊維”に関する情報発信の一環としてWebサイトを開設しています。

日本化学繊維協会では“化学繊維”に関する情報発信の一環としてWebサイトを開設しています。

2015年版
繊維ハンドブック

この1冊があなたの仕事を助けます。
業界人必携の最新繊維データバンク

- 日本と世界の繊維原料からテキスタイル、アパレル、消費まで、特に発展する東アジアのデータを充実
- 全繊維、全加工段階を網羅・収録

<http://www.jcfa.gr.jp/>

「繊維ハンドブック」(統計資料集)も
Web からご注文いただけます。

クリーン
エネルギー社会を
現実

いま、必要な会社。

NISSHINBO

www.dog-theater.jp

日清紡グループ

“繊維”を 知りたい！ 信州大学 繊維学部発 学びたい！ テキスタイル工学のバイブル完成！！

最新テキスタイル工学 I

最新テキスタイル工学 II

— 繊維製品の心地を数値化するためには —

— 繊維製品に用いられている糸、布とは —

- ▶ 人材育成・教育用に
- ▶ 技術開発・商品企画に
- ▶ 産学官連携へのアプローチに

次代に継承する繊維技術を網羅した全2巻
今すぐご活用ください！！

● 編 著： 西松 豊典
(信州大学 繊維学部 教授)

最新テキスタイル工学 I

● 販 価 2,900 円
(本体 2,500 円+税 200 円+送料 200 円)

最新テキスタイル工学 II

● 販 価 3,440 円
(本体 3,000 円+税 240 円+送料 200 円)

本書の内容

最新テキスタイル工学 I

— 繊維製品の心地を数値化するためには —

● A5判 220ページ カバー巻き

はじめに

第1章 背広服(スーツ)の「着心地」を数値化するには

……信州大学 繊維学部 先進繊維工学課程
教授 西松 豊典

- 1.1 はじめに
- 1.2 服飾史に見る背広服
- 1.3 「着心地 (clothing comfort)」とは
- 1.4 背広服上衣の「着心地」を数値化するには
- 1.5 おわりに

第2章 「快適性(心地)」を評価する官能検査とは

……信州大学 繊維学部 先進繊維工学課程
教授 西松 豊典

- 2.1 人間快適工学とは
- 2.2 感性情報とは
- 2.3 視覚と触知覚について
- 2.4 官能検査を行うには

第3章 シミュレーション

……信州大学 繊維学部 感性工学課程
教授 乾 滋

- 3.1 シミュレーションとは
- 3.2 テキスタイル・衣服のシミュレーション

第4章 生理的機能量の測定

……信州大学 繊維学部 先進繊維工学課程
准教授 金井 博幸

- 4.1 はじめに
- 4.2 生理的機能量とその役割
- 4.3 生理的機能量の分類
- 4.4 心電図
- 4.5 脳波
- 4.6 筋電図

第5章 繊維製品の物理量を測定するには

……信州大学 繊維学部 先進繊維工学課程
教授 木村 裕和

……(5.6 嗅覚に関連する物理量の測定)
信州大学 繊維学部 先進繊維工学課程
准教授 金井 博幸

- 5.1 はじめに
- 5.2 測定とは
(感度、精度、有効数字、測定回数)
- 5.3 触知覚に関連する物理量
(機械的性質)の測定
- 5.4 触知覚に関連する物理量
(機能的特性)の測定

- 5.5 視覚に関連する物理量の測定
- 5.6 嗅覚に関連する物理量の測定
- 5.7 工業規格類を利用する際の留意事項

第6章 繊維製品の「心地」と物理量の関係は多変量解析で

……信州大学 繊維学部 先進繊維工学課程
教授 西松 豊典

- 6.1 はじめに
- 6.2 相関分析とは
- 6.3 主成分分析
- 6.4 重回帰分析

索引

最新テキスタイル工学 II

— 繊維製品に用いられている糸、布とは —

● A5判 320ページ カバー巻き

はじめに

第1章 繊維製品

……信州大学 繊維学部 先進繊維工学課程
教授 木村 裕和

- 1.1 はじめに
- 1.2 アパレル製品
- 1.3 スポーツウェア
- 1.4 高齢者用衣料品
- 1.5 インテリア製品
- 1.6 ジオテキスタイル
- 1.7 自動車用関連製品
- 1.8 医療関連製品

第2章 繊維原料

……福井大学 大学院工学研究科
教授 田上 秀一

……福井大学 大学院工学研究科
講師 植松 英之

……信州大学
名誉教授 松本 陽一

……(株)AOKI 商品開発室長
室長 柴田 清弘

- 2.1 はじめに
- 2.2 繊維原料の歴史
- 2.3 天然繊維
- 2.4 化学繊維
- 2.5 今後の繊維材料の課題

第3章 紡績工学

……信州大学
名誉教授 松本 陽一

- 3.1 はじめに
- 3.2 糸づくりの歴史
- 3.3 よい糸の条件
- 3.4 糸の表示方法
- 3.5 糸の分類と種類
- 3.6 紡績工程

- 3.7 糸の試験方法と糸むらの評価方法
- 3.8 新しい紡績技術の開発
- 3.9 課題

第4章 製布工学

……信州大学 繊維学部 先進繊維工学課程
教授 西松 豊典

……東京都立産業技術センター
多摩テクノプラザ 所長 近藤 幹也

- 4.1 はじめに
- 4.2 布の歴史
- 4.3 皮革
- 4.4 合成皮革と人工皮革
- 4.5 織物について
- 4.6 編物(ニット)
- 4.7 織物分解、編物分解
- 4.8 不織布
- 4.9 課題

第5章 染色加工・機能加工

……信州大学 副学長 繊維学部長
教授 濱田 州博

- 5.1 はじめに
- 5.2 染色の歴史
- 5.3 染料と染色加工
- 5.4 染色加工の前処理(準備工程)
- 5.5 染色性の評価法
- 5.6 仕上げ加工・機能加工

第6章 衣服の設計と生産

……信州大学 国際ファイバー工学研究所
教授 高寺 政行

……信州大学 国際ファイバー工学研究所
助教 金 屋

- 6.1 はじめに
- 6.2 既製服の設計・生産
- 6.3 既製服の設計
- 6.4 生地と副資材の選択
- 6.5 衣服のターゲットとサイズ
- 6.6 衣服のデザイン要素
- 6.7 パターン設計
- 6.8 既製服の生産
- 6.9 CAD・CAMとシミュレーション

第7章 衣服の洗濯

……ライオン(株) ファブリックケア研究所
蓼沼 裕彦

……ライオン(株) ファブリックケア研究所
宮原 岳彦

- 7.1 はじめに
- 7.2 衣服の汚れ
- 7.3 家庭用洗濯洗剤と漂白剤
- 7.4 おしゃれ着洗濯
- 7.5 衣服用仕上げ剤
- 7.6 おわりに

第8章 日本の繊維産地

……地方独立法人 大阪府立産業技術研究所
山本 貴則

索引

お申し込みは — 電話 / HP / E-mail で！



株式会社 繊維社 企画出版

〒541-0056

大阪市中央区久太郎町1-9-29 (東本町ビル5F)

Tel. (06) 6251-3973 Fax. (06) 6263-1899

E-mail: info@sen-i.co.jp http://www.sen-i.co.jp

繊維学会誌

平成 27 年 3 月 第 71 巻 第 3 号 通巻 第 828 号

目 次

繊維と工業(Reviews and News)

- 【時 評】 之を好む者に如かず 村瀬 浩貴 ... P-111
- 【特集】 〈今、新しいシルクの話(2)〉
- シルク利用の新しい展開 – バイオマテリアルとしての展望 – 玉田 靖 ... P-112
- シルクフィブロインナノ繊維集合体の角膜再生足場としての有用性
 服部 晋也・小林 尚俊 ... P-117
- スズメバチの幼虫もシルクを生成する – ホーネットシルクの構造と利用 –
 亀田 恒徳 ... P-123
- なぜ、今クモの糸なのか? 大崎 茂芳 ... P-129
- 【連載】 〈業界マイスターに学ばせんの基礎講座-6〉
- 第2編 糸の基礎知識 安部 正毅・松本 三男 ... P-134
- 【繊維学会創立70周年記念連載】 〈技術が支えた日本の繊維産業 – 生産・販売・商品開発の歩み – 18〉
- 羊毛産業の盛衰(1) 松下 義弘 ... P-147
- 【レポート】 スマートテキスタイル分野への期待
- 「スマートテキスタイル連携研究推進委員会」キックオフセミナーを開催して –
 堀 照夫 ... P-156
- 2015 学術ミキサー 報告書 企画委員会 ... P-159
- 【海外ニュースレター】 P-161

報 文(Original Articles)

- 【一般報文】 樹脂コーティング封止層を有する繊維状および布帛状有機薄膜太陽電池における
 光吸収特性の検討 坪井 一真・松本 英俊・布川 正史・谷岡 明彦・杉野 和義
 池田 佳加・米澤 修一・源中 修一・木村 睦 ... 121
- Effect of the Take-Up Velocity on the Higher-Order Structure of the Melt-Electrospun
 PLLA/PDLA Blend Fibers Masaki Yamamoto, Goro Nishikawa, Amalina M. Afifi,
 Jae-chang Lee, and Hideki Yamane ... 127
- 吸放湿繊維材料の水蒸気吸脱着に伴う熱量変化及び発生機構の分析
 荻野 毅・田中 宏史・高津 康幸・住谷 龍明 ... 134
- Differential Identification and Quantification of Cashmere, Sheep and Yak Fibers in Textiles
 Using Liquid Chromatography/Mass Spectrometry
 ... Hanako Ataku, Keiko Nishijima, Ayumi Mori, Nobuyuki Fujita, and Kazumi Sasaki ... 141

Journal of the Society of Fiber Science and Technology, Japan

Vol. 71, No. 3 (March 2015)

Contents

[Reviews and News]

〈Foreword〉

One Who Only Knows It Is No Match for One Who Likes It Hiroki MURASE ... P-111

〈Special Issue on Silk, the New Perspectives (2)〉

New Concept of Silk Utilization Technology – Prospects as Biomaterial – Yasushi TAMADA ... P-112

Efficacy of Silk Fibroin Nanofiber Construct as a Corneal Stromal Regeneration Scaffold
..... Shinya HATTORI and Hisatoshi KOBAYASHI ... P-117

Hornet Larvae also Spin Silk Tsunenori KAMEDA ... P-123

What is the Current Popular Interest in Spider Silk?..... Shigeyoshi OSAKI ... P-129

〈Series on Fiber Basic Course Lectured by Professional Engineers-6〉

Basic Knowledge of Yarn Masaki ABE and Mitsuo MATSUMOTO ... P-134

〈Series of Historical Reviews of Japanese Textile Industry Supported by the Technology

– History of the Production, Sales, and Product Development–18〉

Rise and Fall of Wool Industries (1) Yoshihiro MATSUSHITA ... P-147

〈Report〉

Expectation to the Fields of Smart Textile

– Overview of Kick-Off Seminar of “Smart Textile Research Committee” – Teruo HORI ... P-156

The Report of the New Year’s Mixer in 2015 Planning Committee ... P-159

〈Foreign News Letter〉 P-161

[Original Articles]

〈Transactions〉

Simulation Study on Optical Absorption Property of Fiber- and Fabric-Shaped Organic
Thin-Film Solar Cells with Resin Sealing Layer

..... Kazuma TSUBOI, Hidetoshi MATSUMOTO, Tadashi FUKAWA,
Akihiko TANIOKA, Kazuyoshi SUGINO, Yoshika IKEDA,
Shuichi YONEZAWA, Shuichi GENNAKA, and Mutsumi KIMURA ... 121

Effect of the Take-Up Velocity on the Higher-Order Structure of the Melt-Electrospun PLLA/PDLA
Blend Fibers Masaki YAMAMOTO, Goro NISHIKAWA, Amalina M. AFIFI,

Jae-chang LEE, and Hideki YAMANE ... 127

Analysis on the Change in Heat Quantity and the Heat-Generating Mechanism in Moisture-
Adsorbing/Desorbing Fiber Materials, Associated with Adsorption and Desorption of Water Vapor

... Takeshi OGINO, Hiroshi TANAKA, Yasuyuki TAKATSU, and Tatsuaki SUMITANI ... 134

Differential Identification and Quantification of Cashmere, Sheep and Yak Fibers in Textiles Using Liquid
Chromatography/Mass Spectrometry Hanako ATAKU, Keiko NISHIJIMA, Ayumi MORI,

Nobuyuki FUJITA, and Kazumi SASAKI ... 141

Sen'i Gakkaishi

(Journal of the Society of Fiber Science and Technology, Japan)

Vol.71 No.3

March 2015

CONTENTS OF ORIGINAL ARTICLES EDITION

【Transactions】

- Simulation Study on Optical Absorption Property of Fiber- and Fabric-Shaped Organic
Thin-Film Solar Cells with Resin Sealing Layer
..... Kazuma Tsuboi, Hidetoshi Matsumoto, Tadashi Fukawa,
Akihiko Tanioka, Kazuyoshi Sugino, Yoshika Ikeda,
Shuichi Yonezawa, Shuichi Gennaka, and Mutsumi Kimura ... 121
- Effect of the Take-Up Velocity on the Higher-Order Structure of the Melt-Electrospun
PLLA/PDLA Blend Fibers Masaki Yamamoto, Goro Nishikawa, Amalina M. Afifi,
Jae-chang Lee, and Hideki Yamane ... 127
- Analysis on the Change in Heat Quantity and the Heat-Generating Mechanism in Moisture-
Adsorbing/Desorbing Fiber Materials, Associated with Adsorption and Desorption of Water Vapor
..... Takeshi Ogino, Hiroshi Tanaka, Yasuyuki Takatsu, and Tatsuaki Sumitani ... 134
- Differential Identification and Quantification of Cashmere, Sheep and Yak Fibers in Textiles Using
Liquid Chromatography/Mass Spectrometry
..... Hanako Ataku, Keiko Nishijima, Ayumi Mori, Nobuyuki Fujita, and Kazumi Sasaki ... 141

Published by

Sen'i Gakkai (The Society of Fiber Science and Technology, Japan)

3-3-9-208, Kami-osaki, Shinagawa-ku, Tokyo 141-0021, Japan

繊維学会誌「報文」活性化と正確な引用文献表記をお願い致します — 繊維学会誌引用の際は“Sen’i Gakkaishi”と表記してください —

繊維学会誌では論文誌としての価値を高めて、より一層会員の皆様、投稿者の皆様に貢献したいと考えております。

これまで以上に積極的な御投稿をお願い申し上げますとともに、本誌を含め各種学術雑誌に研究成果を御発表されます場合には、繊維学会誌の積極的な引用についても併せてお願い申し上げます。

特に引用を頂く際には、誌名の正確な綴りにもご留意いただきますようお願いいたします。現在の繊維学会誌「報文」は、“Sen’i Gakkaishi”(n と i の間はアポストロフィでハイフンではありません)の表記をお使いいただきますようお願いいたします。

投稿時の体裁変更のお知らせ

これまで、投稿していただく際にカメラレディー形式に整えていただくことをお願いして参りましたが、今般印刷システムの見直しにより、カメラレディー形式での投稿は必須ではなくなりました。

テキストデータ、図表データを別々のファイルでご用意いただき、図表の差し込み位置が分かるように本文中に示していただければ、ペタ打ちで投稿いただけます。図、写真は jpeg 形式で、表はテキスト情報が抽出可能な word 等で作成してください。その際本文は A4 判に 10.5 から 12 ポイントのサイズで、改行幅は 1.5 行程度に設定してください。

また、図表のレイアウトや大きさなど著者の体裁上のご希望を予めお伝えいただけ、ページ数の見積もりも可能なため、これまで同様カメラレディー形式に整えていただいても結構です。カメラレディーひな形はホームページからダウンロードしていただけます。

投稿の際の負担を軽減することで、より迅速快適に研究成果をご発表いただけるようになりました。今後とも繊維学会誌への積極的なご投稿をお待ちしております。

「報 文」編集委員 Sen’i Gakkaishi, Editorial Board

編集委員長 Editor in Chief	髪 谷 要(和洋女子大学大学院) Kaname Katsuraya	編集副委員長 Vice-Editor	塩 谷 正 俊(東京工業大学大学院) Masatoshi Shioya
編集委員 Associate Editors	河 原 豊(群馬大学大学院) Yutaka Kawahara	木 村 邦 生(岡山大学大学院) Kunio Kimura	久保野 敦 史(静岡大学) Atsushi Kubono
	澤 渡 千 枝(静岡大学) Chie Sawatari	鋤 柄 佐千子(京都工芸繊維大学大学院) Sachiko Sukigara	高 寺 政 行(信州大学) Masayuki Takatera
	武 野 明 義(岐阜大学) Akiyoshi Takeno	趙 顯 或(釜山大学校) Hyun Hok Cho	登 阪 雅 聡(京都大学) Masatoshi Tosaka
	久 田 研 次(福井大学大学院) Kenji Hisada	菅 井 清 美(新潟県立大学) Kiyomi Sugai	山 根 秀 樹(京都工芸繊維大学大学院) Hideki Yamane
	吉 水 広 明(名古屋工業大学大学院) Hiroaki Yoshimizu	和 田 昌 久(京都大学大学院) Masahisa Wada	

The Society of Fiber Science and Technology, Japan (2014 & 2015)

President T. Kikutani (Tokyo Institute of Technology)

Vice-Presidents T. Kanaya (Kyoto University)

K. Hamada (Shinshu University)

H. Murase (Toyobo Co., Ltd.)

Member-promoting Officer M. Tokita (Tokyo Institute of Technology)

Editor in Chief “Sen’i to Kogyo” A. Tsuchida (Gifu University)

Editor in Chief “Sen’i Gakkaishi” K. Katsuraya (Wayo Women’s University)

Treasurers H. Oikawa (Tohoku University)

K. Ogino (Tokyo University of Agriculture & Technology)

K. Inomata (Nagoya Institute of Technology)

K. Hisada (University of Fukui)

H. Urakawa (Kyoto Institute of Technology)

K. Tanaka (Kyushu University)

Planning Officers T. Iwata (The University of Tokyo)

M. Aoyama (Toray Industries, Inc)

K. Katsuraya (Wayo Women’s University)

A. Tsuchida (Gifu University)

K. Ogino (Tokyo University of Agriculture & Technology)

開催年月日	講演会・討論会等開催名(開催地)	掲載頁
27. 3. 18(水)	第3回日韓親善学術研究・講演会(福島市・福島大学 募金記念棟第一会議室)	A4
4. 16(木)	平成27年度繊維学会北陸支部学術普及講演会 高性能繊維の最新動向と産業への展開(福井市・福井県工業技術センター)	A3
6. 3(水) 7. 1(水) 8. 5(水) 9. 2(水) 10. 14(水) 11. 4(水)	第20講「研究開発リーダー実務講座2015」－企業の未来を担う理想の研究開発リーダー像とは？－(大阪市・大阪科学技術センター)	A5
6. 13(土) 14(日)	日本人間工学会 第56回大会(東京都・芝浦工業大学)	A6
9. 2(水) ～ 4(金)	第63回年次大会(平成27年度)・工学教育研究講演会ならびに国際セッション－イノベーションを牽引する－工学教育の国際化－(福岡市・九州大学工学部(伊都キャンパス))	A6
9. 23(水) ～ 25(金)	第63回レオロジー討論会(神戸市・神戸大学工学部)	A6
	繊維学会誌広告掲載募集要領・広告掲載申込書	平成22年6月号
	繊維学会定款(平成24年4月1日改訂)	平成24年3月号
	Individual Membership Application Form	平成24年12月号
	繊維学会誌報文投稿規定(平成24年1月1日改訂)	平成26年1月号
	訂正・変更届用紙	平成26年3月号

「繊維と工業」編集委員

編集委員長	土田 亮(岐阜大学)								
編集副委員長	髯谷 要(和洋女子大学大学院)	出口 潤子(旭化成せんい(株))							
編集委員	植野 彰文(KBセーレン(株))	大島 直久(東海染工(株))	金 翼水(信州大学)	小寺 芳伸(三菱レイヨン(株))					
	澤田 和也(大阪成蹊短期大学)	高崎 緑(宮城教育大)	寺本 喜彦(東洋紡(株))	西田 幸次(京都大学化学研究所)					
	西村 高明(王子ホールディングス(株))	増田 正人(東レ(株))	村上 泰(信州大学)	山田 秀夫(帝人(株))					
	吉田 耕二(ユニチカトレーディング(株))								
顧問	浦川 宏(京都工芸繊維大学大学院)								

平成27年度繊維学会主要行事予定

行 事 名	開 催 日	開 催 場 所
平成27年度年次大会	平成27年 6 月10日(水)～ 6 月12日(金)	タワーホール船堀(東京都江戸川区)
第45回夏季セミナー	平成27年 7 月29日(水)～ 7 月31日(金)	北九州国際会議場(小倉)

平成 27 年度分 正会員年会費自動引落日のご連絡

年会費の自動引落しをお申込み頂いています正会員の皆様の口座からの年会費の自動引落日は

平成 27 年 4 月 27 日(月)

になりますのでご通知申し上げます。

正会員の皆様へメールアドレス登録のお願い

ご高承の通り、昨今、情報提供のための環境は大きく変化し、伝達ツールはその利便性から電子メールに代表される電子媒体が主なものになってきております。さらに伝えるべき情報量も増大している現状があります。本学会におきましても、各種情報を電子メールで提供したい、もしくは受領したいとの要望が多くなってきており、メールによる情報一斉配信(繊維学会本部行事のご案内など)は重要な会員サービスと考えられますので、会員の皆様の情報のご提供をお願いいたします。

なお、提供者の意志に基づいてご提供いただいた情報(またはその更新)につきましては、事務局と連携し HP 担当理事が責任を持って行うものといたします。また、繊維学会プライベートポリシーに則って、本人の同意なく第三者へ開示提供することはありません。

具体的な作業について説明いたします。

- 1) テンプレートとなるエクセルファイル(mail-template.xls)を繊維学会ホームページ(<http://www.fiber.or.jp/>)からダウンロードしてください(ダウンロードができない、またはご希望の場合は、その旨を「member-inform@fiber.or.jp」までお伝えください。添付ファイルで返送いたします)。
- 2) 必要事項をご記入後、ファイル名を「会員番号(12桁の数字のほうでお願いします).xls」と変えて保存してください。12桁の会員番号は学会誌の発送宛名シールに記載されております(例:00000xxxxx00)。
- 3) 作成したファイルを「member-inform@fiber.or.jp」までご送付ください。

なお、疑問点がございましたら、上記アドレスまでお問い合わせください。

複写される方へ

本誌に掲載された著作物を複写したい方は、(社)日本複写権センターと包括複写許諾契約を締結されている企業の方でない限り、著作権者から複写権等の行使の委託を受けている次の団体から許諾を受けてください。

〒107-0052 東京都港区赤坂 9-6-41 乃木坂ビル

(中法)学術著作権協会

TEL:03-3475-5618, FAX:03-3475-5619

E-mail: info@jaacc.jp

著作物の転載・翻訳のような、複写以外の許諾は、直接本会へご連絡ください。

アメリカ合衆国における複写については、次に連絡してください。

Copyright Clearance Center, Inc.

222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923 USA

Phone: 1-978-750-8400 FAX: 1-978-646-8600

平成 27 年度繊維学会北陸支部学術普及講演会 高性能繊維の最新動向と産業への展開

炭素繊維をはじめとする高性能繊維を用いた複合材料は、世界が注目する未来の材料として、自動車産業、航空宇宙産業の他、多岐にわたる産業分野での活用が期待されています。北陸地域でも金沢工業大学革新複合材料研究開発センターが設立され、本地域の繊維産業が有する高い技術力を活かしたもののづくりを推進しています。本講演会では、複合材料に関する最新の開発動向や実際の活用事例、今後の用途展開についてご講演いただきますので、是非ご参加くださいますようご案内します。また、4月16日～18日は、福井県工業技術センターの一般公開が開催されています。

主 催：繊維学会北陸支部

共 催：福井県工業技術センター、福井県繊維技術協会、日本繊維機械学会テクテキスタイル研究会

日 時：平成 27 年 4 月 16 日(木) 13:30～17:10

場 所：福井県工業技術センター 講堂

福井県福井市川合鷺塚町 61-10 TEL:0776-55-0664

交 通：JR 福井駅下車 路線バス(所要時間 約 25 分)

京福バス福井駅西口 10 番のりば 28 系統 運転センター線 つくしの団地下車(徒歩 3 分)

- | | | |
|----------------|--------------------------------------|--------------------------------|
| 1. 13:30～13:35 | 開会挨拶 | 繊維学会北陸支部長 |
| 2. 13:35～14:25 | 欧州複合材料展「JEC Europe」2015 調査報告 | 福井県工業技術センター 笹山 秀樹 |
| 3. 14:25～15:15 | 炭化ケイ素系セラミック繊維「チラノ繊維」の特性および用途展開について | 宇部興産(株) 澁谷 昌樹 |
| 4. 15:25～16:15 | 刺繍技術を応用した強化繊維プリフォームとその実用例 | タジマ工業(株) 佐藤 良太 |
| 5. 16:15～17:05 | 量産電気自動車 BMW i3 車体への CFRP 適用とその背景及び展望 | 山根健オフィス代表(BMW Japan 技術顧問) 山根 健 |
| 6. 17:05～17:10 | 閉会挨拶 | 福井県工業技術センター 化学・繊維部長 |

定 員：120 名

参加費：1,000 円 (資料代として)

参加登録：4月10日(金)までに会社名・所属・氏名・連絡先電話番号、メールアドレスをご記入の上、FAX(様式は裏面)、または電子メールで下記にお申し込みください。

申込先：福井県工業技術センター 化学・繊維部 岩下美和

TEL:0776-55-0664 FAX:0776-55-0665 E-mail: iwashita@fklab.fukui.fukui.jp

福井大学 大学院工学研究科 植松英之

TEL: 0776-27-9952 FAX:0776-27-8767 E-mail: uematsu@matse.u-fukui.ac.jp

第3回日韓親善学術研究・講演会

主 題：最新の高分子科学研究と相互理解

主 催：福島大学共生システム理工学類、繊維学会東北・北海道支部、接着学会東北支部

共 催：東北ポリマー懇話会、蔵前工業会福島県(東京工業大学同窓会)支部、高分子学会東北支部

日 時：平成 27 年 3 月 18 日(水)；12:00～16:50

場 所：福島大学 募金記念棟第一会議室

第1部：講演

講 師：

- ・ソウル大学(韓国)教授 Tae Jin Kang 教授；Electro-responsive Core/Shell Nano Fiber Mats for Smart Textiles
- ・大阪大学 明石 満 教授；Development of Dimensionally Controlled Polymer Materials by Use of Self-assembly Based on weak Interactions
- ・再生医工学バイオマテリアル研究所 赤池敏宏 所長；Innovation in Biomaterials Research -Cadherin・Matrix Engineering for Homogeneous Reaction Control of ES/ iPS Cells
- ・東北大学 及川英俊 教授「共役高分子ハイブリッドナノ結晶における最近の展開：Recent Progress on Hybridized Nanocrystals of Conjugated Polymers」
- ・福島大学 金澤 等 教授「アミノ酸 NCA の重合の謎を解く・高分子改質で車の軽量化、回想付；Solving the problems in amino acid NCA polymerization；Weight-saving of cars by the modification of polymeric materials；Memories in my research life.」
- ・ソウル大学 H-J Kim 教授；Temporary Bonding and UV Laser Debondable Adhesives for 3D Multi-chip Packaging Process
- ・山形大学 川口正剛 教授「ZrO₂ ナノ微粒子を用いた高分子光学材料の屈折率制御」Refractive index control of polymeric optical materials using ZrO₂ nano-particles
- ・京都女子大(元) 矢井田修 教授；「不織布技術の最新動向；The latest trend of non-woven fabric technology」
- ・九州大：Dr. Kevin White：“Promoting self-assembly of colloidal plates into smectic mesophase for spray-coatable and mechanically robust epoxy barrier films and membranes”

第2部：東北・北海道地区の研究紹介

- 1) 大石好行(岩手大学教授)：機能的トリアジン系ポリマーの開発
- 2) 岡田修司(山形大教授)：高性能電気光学ポリマー実用化を目指して
- 3) 松葉 豪(山形大准教授)：グリーンマテリアル高分子の精密構造制御による物性向上
- 4) 佐藤力哉(山形大准教授)：多分岐ポリマーを用いた機能材料の開発
- 5) 他交渉中

第3部：産業界からの講演

- 1) 交渉中、藤村忠正(ビジョン開発(株)会長)他

懇親会：あり(有料)：お問合せください。

申込先：〒960-1296 福島市金谷川1番地 福島大学・共生システム理工学類

金澤研究室・稲田 文：TEL：024-548-8184 E-mail：inada_aya@yahoo.co.jp

実行担当者 金澤 等、TEL：024-548-8184 E-mail：kana@sss.fukushima-u.ac.jp

平成27年度技術士 第一次試験受験講習会

主 催：(一社)日本繊維技術士センター(JTCC)

技術士法に基づいて行われる技術士第一次試験(試験日：平成27年10月12日)の受験を支援するため、日本繊維技術士センターでは以下の通り、受験対策講習会を開催します。

1. 科目

- (1) 基礎科目 設計・計画・品質管理、情報・論理、解析、材料・化学・バイオテクノロジー、環境・エネルギー・技術(技術史など)
- (2) 適正科目 技術士の論理
- (3) 専門科目(繊維部門) 紡糸、加工糸、紡績、織布、ニット、不織布、浸染・捺染、繊維加工、縫製、繊維製品試験法・表示法など

注：技術士第一次試験の共通科目は25年度から廃止されています。

2. 講習会開催日および会場

〈大阪会場〉

講義：5/23、5/30、6/6、6/20、6/27、7/4、7/11
の計7日間

時間：9時30分～17時まで

模擬試験：8/22(土) 9時30分～15時まで

会場：JTCC 本部事務所(大阪市中央区備後町3-4-9
輸出繊維会館6階)

申込：JTCC 宛に FAX にて申し込みください。

FAX：06-6484-6575

〈名古屋会場〉

講義：5/23、5/30、6/20、6/27 の計4日間

時間：9時30分～17時まで

模擬試験：8/22(土) 9時30分～15時まで

フォローアップスクーリング：9/5(土) 9時30分～
15時まで

会場：JTCC 東海支部榑木町事務所(名古屋市東区
榑木町1-1)

〈東京会場〉

講義：7/11、7/18、8/8、8/22 の計4日間

時間：9時30分～16時30分まで

模擬試験：8/29(土) 9時30分～15時まで

フォローアップスクーリング：9/12(土) 9時30分
～15時まで

会場：JTCC 関東支部事務所(東京都中央区日本橋
小伝馬町12-9 滋賀ビル506号)

講義に参加できない方は、通信教育での指導
も可能ですのでご相談ください。

詳細(費用など)はJTCC 本部又は各支部にお問い合わせ
ください。

JTCC 本 部(TEL:06-6484-6506)、JTCC 東 海 支 部
(TEL:052-231-3043)、JTCC 関東支部(TEL:03-5643-
5112)

第20講 「研究開発リーダー実務講座2015」 — 企業の未来を担う理想の研究開発 リーダー像とは? —

主 催：近畿化学協会

開催日：第1回 6月3日(水)、第2回 7月1日(水)

第3回 8月5日(水)、第4回 9月2日(水)

第5回 10月14日(水)、第6回 11月4日(水)

場 所：大阪科学技術センター7階700号室(大阪市西区
靱本町1-8-4)

プログラム：

第1回「リーダーのあり方」

1) メイドインジャパンは生き残れるかー復活へのカギ
ー(仮)13:30～15:30

ボストン・テクノロジー・マネジメント 小野光則

2) グループディスカッション/ミキサー交流会
15:45～17:45

第2回「技術者の挑戦」

1) 基盤技術とコア技術に裏付けられた新技術の創生ー
歴史があるから明日があるー 13:30～15:00

富士フィルム(株) 柳原直人

2) 舞台裏で繰り広げられた創薬のドラマー睡眠薬ロゼ
レムの誕生秘話ー 15:15～16:45

武田薬品工業(株) 内川 治

3) ディスカッション(ミキサー交流会)16:45～17:45

第3回「人材育成と活用」

1) 研究開発における女性人材の育成 13:30～15:00

住友化学(株) 中山由美子

2) 経営者からみた技術人材のあり方 15:15～16:45

(株)日本触媒 近藤忠夫

3) ディスカッション(ミキサー交流会)16:45～17:45

第4回「知財の活用/新規市場の創出」

1) 世界の知財ビジネス最前線と日本の知財戦略
13:30～15:00

山本特許法律事務所 山本秀策

2) 「CD-Rの事業化とライセンス戦略」15:15～16:45

元太陽誘電(株) 浜田恵美子

3) ディスカッション(ミキサー交流会)16:45～17:45

第5回「R&Dから工業化へ」

1) 光学分割用キラルカラムの開発・研究から工業化へ
の道のり」13:30～15:00

元(株)ダイセル 渡加裕三

2) 企業における独創的な研究開発の進め方

ー手振れ補正などの基本的な発明からスマート家電
の事業化までー 15:15～16:45

パナソニック(株) 大嶋光昭

3) ディスカッション(ミキサー交流会)16:45～17:45

第6回「R&Dのマネジメント」

1) 日東電工の技術戦略と継続的な多軸の創出ーサステ
ナブル企業を目指してー 13:30～15:30

2) グループディスカッション(ミキサー交流会)

15:45~17:45

申込・問合せ先:

(一社)近畿化学協会(大阪市西区靱本町 1-8-4

大阪科学技術センター 6 階)

TEL: 06-6441-5531 E-mail: mail@kinka.or.jp

詳細はホームページをご参照ください。

共同研究課題の募集

(独)科学技術振興機構(JST)では、国際科学技術共同研究推進事業(戦略的国際共同研究プログラム)の一環として、ヴィシェグラード4か国(チェコ、ハンガリー、ポーランド、スロバキア)の研究支援機関と協力し、「先端材料」に関する共同研究課題を募集しています。

〈公募概要〉

- 1) 研究領域 「先端材料」
- 2) 募集締切 4月10日(金) 19:00
- 3) 支援期間(研究期間) 3年間(支援規模1課題あたり総額1,800万円を上限とする)
- 4) 採択予定数 4課題程度

〈募集の詳細〉

http://www.jst.go.jp/sicp/announce_v4_1st.html

〈事業の概要〉

<http://www.jst.go.jp/inter/sicorp/index.html>

問合せ先: (独)科学技術振興機構(JST) 国際科学技術部
事業実施担当(宮下、箕輪)

TEL: 03-5214-7375 E-mail: jointv4@jst.go.jp

第12回(平成27年度)日本学術振興会賞 受賞候補者の推薦について

研究者養成事業の一環として、「日本学術振興賞」を制定し、優れた若手研究者を顕彰しています。この賞は、創造性に富み優れた研究能力を有する若手研究者を顕彰し、その研究意欲を高め、研究の発展を支援することにより、我が国の学術研究の水準を世界のトップレベルにおいて発展させることを目的とし、第12回(平成27年度)日本学術振興会賞受賞候補者の推薦を募集しています。

- 1) 対象分野 人文学、社会科学および自然科学にわたる全分野
- 2) 受付期間 平成27年4月13日(月)~15日(水)期間中必着
- 3) 詳細の問合せ先 (独)日本学術振興会 研究者養成課「日本学術振興賞」担当
TEL: 03-3263-0912
URL <http://www.jsps.go.jp/jsps-prize/>

日本人間工学会 第56回大会

主催: (一社)日本人間工学会

日時: 平成27年6月13日(土)、14日(日)

場所: 芝浦工業大学 芝浦キャンパス(東京都港区芝浦3-9-14)

問合せ先: 日本人間工学会 第56回大会 運営事務局

TEL: 03-5510-7923

E-mail: registration@jes2015.jp

第63回年次大会(平成27年度)・ 工学教育研究講演会ならびに 国際セッション講演募集 — イノベーションを牽引する 工学教育の国際化 —

主催: (公社)日本工学教育協会、九州工学教育協会

日時: 平成27年9月2日(水)~4日(金)

場所: 九州大学工学部(伊都キャンパス)

〒819-0395 福岡市西区元岡744

TEL: 092-802-2728

発表形式: 口頭発表またはポスター発表

問合せ先: 日本工学教育協会 事務局 川上理英

〒108-0014 東京都港区芝5-26-20

建築会館4階

TEL: 03-5442-1021

E-mail: kawakami@jsee.or.jp

URL: <https://www.jsee.or.jp/taikai/kenkyu/>

第63回レオロジー討論会の講演募集

主催: 日本レオロジー学会、日本バイオレオロジー学会、
神戸大学大学院工学研究科

日時: 平成27年9月23日(水)~25日(金)

場所: 神戸大学工学部

講演申込締切: 平成27年6月22日(月)

特別企画1: 「バイオレオロジー・リサーチ・フォーラム」

特別企画2: International Symposium on Rheology

(English Session: 一般講演募集)

問合せ先: 日本レオロジー学会事務局

〒600-8815 京都市下京区中堂寺栗田町93

京都リサーチパーク6号館3階

TEL: 075-315-8687 E-mail: office@srj.or.jp